7　参考資料

7－2　工事記録のまとめ方

工事管理を実施する上で重要なポイントは、設計図書や元請会社様からの指示書および外壁材メーカーや保険法人の標準施工に基づいた施工を行ったという証拠、すなわち工事記録（工事履歴）を作成することです。さらに、その記録は第三者が客観的に理解できるように記録されている必要があります。
したがって、工事記録を作成する際に、重要なポイントは写真撮影をしておくことです。住宅が完成した時点で、性能評価書関連の書類とともに各工事の工事記録が揃うことで性能の裏付けとなる施工面の品質が明確になり、引き渡し後のメンテナンスや中古住宅取引の際にも重要な資料となります。

1）工事写真
写真には工事名、撮影部位、撮影日、撮影者などを明記したサインボードを入れ、必要に応じてメジャーなどで寸法がわかるように工夫する必要があります。
写真撮影で重要なポイントは施工精度の確認とメンテナンス時の納まりのチェックです。撮影箇所は元請会社様のご指示に従うほか、以下の例を参考にして必要箇所を撮影してください。
同じ様な納まりが数ヶ所ある場合には代表例を撮影し、他は同じ納まりであることを明記して、記録書に元請会社様のご確認印をいただくことが大切です。

サインボード（例）

○○邸外壁工事	
撮影箇所	
撮影日　　／	
撮影者	
備考	

工事写真として撮影するポイント（例）

- ●使用材料、役物、付属部品など
- ●施工前の施工箇所の状態
- ●防水紙張りと防水テープ貼りに関する部分
  開口部まわり／水切役物との取り合い部／出隅／入隅／配管・換気口周囲／バルコニー笠木取り合い部・床防水との取り合い部など
- ●胴縁下地組みに関する部分
  胴縁の厚み・幅寸法／接合部・開口部の部分／通気のための開口部まわり・軒天部・下屋根部・オーバーハング部の横胴縁／入隅の追加下地／積雪地の補強胴縁など
- ●留付金具とその施工中（留め付け方）および釘打ち部分とその施工中（留め付け方）
- ●あらわしとなる切断小口の防水処理（モエンシーラー・補修液の塗布）
- ●シーリング目地の充填前とプライマーの塗布作業
- ●シーリングの充填作業状況、ヘラ押さえ作業状況　　など

2）工事記録のまとめ方
工事記録は工事写真の他に「外壁工事記録 兼 保証書発行申請書」などを活用し、まとめることが大切です。この工事記録書に各チェックリストおよび工事記録写真類を添付してください。工事記録書には作成者の捺印のほか、元請会社様が工事の完了を確認したことの証明書を兼ねていますので、必ず確認印をいただくことが非常に大切です。

3）工事記録書の保管・提出
工事記録書は元請会社様に提出するほか、外壁工事店様でも整理して保管してください。

7－3　無塗装品（シーラー品）の塗装

無塗装品（シーラー品）の塗装は、以下の塗料メーカーを推奨しております。

推奨塗料メーカー	お問い合わせ電話番号
日本ペイント株式会社　お客様センター	03－3740－1120（東京）　06－6455－9113（大阪）
大日本塗料株式会社　塗料相談室	0120－98－1716
エスケー化研株式会社	072－621－7733（代）
スズカファイン株式会社	059－397－2187（代）
菊水化学工業株式会社	052－300－2222（代）
アイカ工業株式会社　問合せセンター	052－409－8313

※目地消し仕様の塗装仕上げの場合は、「モエン大壁工法」をご採用ください。